

まちのわだい



写真左から八女警察署の星野署長、吉永商店㈱の吉永社長、渡邊町長

安全安心なまちづくりを目指して 広川町よくし隊発足

広川町と八女警察署が3月29日(火)「広川町よくし隊」の発足に関する覚書を締結し、吉永商店㈱が広川町よくし隊第一号に認定されました。「広川町よくし隊」は町内で普段の業務・事業を行い「ながら防犯」を自主的に実施できる団体・法人を広川町が認定するもの。認定された団体・法人は警察の研修会、訓練などの支援を受けながら、自主防犯活動を適正に行います。4月6日(水)は、下広川小学校で3者合同での出発式を挙げる。パトカーや吉永商店㈱のごみ収集車が町内を巡回しました。吉永商店㈱は今後、週4日登下校の時間帯に走るごみ収集車にカメラを設置して防犯に協力する予定です。

脱炭素社会を目指して協定締結

広川町×㈱アズマ×やめエネルギー㈱

広川町と㈱アズマ、やめエネルギー㈱が3月29日(火)、「再生可能エネルギーの拡大と活用などに関する協力連携協定」を締結しました。地球温暖化は二酸化炭素などの温室ガスの増加が原因といわれています。今回の協定は、互いの強みを最大限に活かしながら地域の課題を解決し、二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ(脱炭素社会)」を実現していくことを目的としたものです。3者は今後、2024年稼働を目標とした「八女地域マイクロログリッド」を構築し、再生可能エネルギーの地産地消・普及拡大に取り組みます。

再生可能エネルギーの拡大と活用等に関する 連携協定書 締結式



写真左から㈱アズマの中島社長、渡邊町長、やめエネルギー㈱の本村社長

町の文化振興に貢献

大隈康子さん・田中智幸さん・鶴等さん



写真左から大隈さん・田中さん・鶴さん

3月31日(木)、大隈康子さん(川瀬区)・田中智幸さん(逆瀬谷区)・鶴等さん(太田区)が広川町の文化振興に貢献したとして、広川町教育委員会から表彰を受けました。大隈さんは、文化連盟会長として文化の普及向上に尽力。田中さんと鶴さんは、広川町スポーツ推進委員として町民のスポーツ振興に寄与しました。

小学1年生へ防犯ブザー寄贈

八女地区防犯協会



3月15日(火)、八女地区防犯協会から広川町・八女市の教育委員会へ防犯ブザーが贈られました。当協会からの防犯ブザーの寄贈は、平成15年度から続いているもの。防犯ブザーは三田村統之会長の「新入学児童が安全・安心な学校生活を送れるように活用してほしい」という思いから、各小学校の新1年生へ配布されています。

希望を胸に新たな旅立ち

広川中学校卒業式

3月11日(金)、広川中学校で卒業式が行われ、5クラス計199人が思い出の学び舎を巣立ちました。今年も新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、参加者の制限や時間短縮など、規模を縮小して実施。式では古川校長が卒業生へ「自分の将来の夢に向かってがんばってください」とエールを送り、卒業生代表の高鍋旺恭さんは、これまで支えてくれた家族や先生へ感謝の気持ちを伝えました。式典後、各学級でホームルームが行われる中、体育館で子どもたちを待つ保護者には生徒が作成したDVDを上映。これまでの学校生活の様子が映し出され、涙する保護者の姿もありました。



大きな期待と少しの不安を胸に

中広川小学校卒業式

3月18日(金)、町内3つの小学校で卒業式が行われ、上広川小学校26人、中広川小学校116人、下広川小学校54人、合計196人が希望を胸に、新しい一歩を踏み出しました。今年も新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、来賓なし、保護者は各家庭1人までと制限して実施。中広川小学校では、中村校長が卒業生一人ひとりの名前を読み上げ、卒業証書が授与されました。式辞では「人と人との関わりの中で成長していつてほしい。相手の喜びを自分の喜びにできるような人間になってほしい」と卒業生へエール。その言葉を胸に、保護者が見守る中、堂々とした姿で会場を後にしました。

町の魅力を再発見！

HIROKAWA BRANDERS 写真展示会

3月4日(金)～6日(日)、九州芸文館でHIROKAWA BRANDERS(広川ブランドス)の写真展示会が開催されました。展示された写真は広川町を題材に、福岡県外出身の3人のカメラマンにより撮影されたもの。町内在住の来場者からは「こんな場所が広川にあったのですか」「広川町をすてきに撮ってくれてありがとう」という声がありました。結婚して何十年も広川町を離れている女性が展示されている写真を見て故郷を懐かしむ姿もありました。展示会では、来場者に「好きな作品にシールを貼ってもらおう」投票も実施。最も投票の多かった作品は、逆瀬谷のお宮で撮った写真でした。



大きな夢と希望を抱いて

広川中学校入学式

広川中学校で4月7日(木)、入学式が行われ5クラス計180人の新入生が、中学生としての第一歩を踏み出しました。式では中園校長が「皆さんのご入学を心から歓迎します。今の気持ちを忘れずに充実した毎日を送ってください」と式辞を述べ、新入生代表の鹿田健太さんは「新しい友達をたくさん作り一緒に夢に向かって努力していきたい」と決意を表明。生徒会代表の樋口葵さんからは「コロナウイルスで昨年開催できなかった体育大会や合唱コンクールを再開、成功させみんな楽しんでみたい。皆さんの支えとなれるよう全力で活動に取り組んでいきます」と新入生へ心強い言葉を贈りました。



笑顔で元気いっぱい!

上広川小学校入学式

4月8日(金)、町内3つの小学校で入学式が行われ、上広川小学校31人、中広川小学校125人、下広川小学校42人、合計198人の児童が新1年生となりました。上広川小学校では、担任の先生から名前を呼ばれた児童が笑顔で元気いっぱいにお返事。猪口校長は「上級生のお兄さんお姉さんや先生たちは、皆さんの入学を楽しみに待っていました。これからたくさんお友達とお話をしましょう。そしてたくさん遊び、皆で楽しい学校を作っていきます」と式辞を述べ、式のあと教室に戻った児童たちはこれから勉強する教科書を手に取り興味津々に眺めています。



写真左から池田さん、石川さん

全国大会出場

池田莉央さん・石川凌大さん

3月27日(日)〜30日(水)、東京都で開催された「第44回全国JOCジュニアオリンピック春季大会」に、町内在住の池田莉央さんと石川凌大さんが出場しました。
池田さんは50メートル自由形で24位、100メートルバタフライで3位、200メートルバタフライで10位、石川さんは200メートル自由形で22位の功績を収め、2人は「全国大会で戦えたことは、私たちにとって素晴らしい経験でした」と語ってくれました。
なお、池田さんと石川さんには、スポーツ振興を目的とした広川町体育協会スポーツ振興チャリティー基金から奨励金が交付されています。